

研究課題番号	3-1705
研究課題名	廃プラスチックの高付加価値化リサイクル技術創製および実用化研究
研究実施期間	平成29年度～令和元年度
累計予算額	83,276 千円
研究機関名	福岡大学
研究代表者名	八尾 滋

1. 評価者の指摘及び提言概要

全体として研究目的を達成し政策的課題である容リプラスチックのマテリアルリサイクル促進に一定の貢献があった。基礎研究に関して、「新たな構造解析法の適用を検討する基礎研究を行い、発現メカニズムを解明することを目的とした」と記載されているが、様々な評価は行っているが、メカニズムの解明までには至っていないのではないかと。先行研究と比較したときに直接的な成果が分かりにくい。T-type が優れた特性を持つという成果はわかるが、射出成形機を製作して、期待通りの性能が出たという所に留まるのか。内部構造の評価を詳細化する基礎的な研究から、実用的高性能ペレット生産プロセスの開発研究への展開を期待したい。環境省側からは、「政策に利用できる可能性が高い」という推薦である。しかし、施策や政策立案に対して、具体的にどのような寄与が出来たのかが全く示されていない。

2. 評点

総合評点：B